The *PATHOS* magazine of Kumamoto General Hospital

独立行政法人
地域医療機能推進機構（JCHO）熊本総合病院だより

ぱとす

第48号
2025年
春号

Volume 13 Number 2 April 2025

熊本総合病院市民公開講座「熊本の未来を語る」は市民の皆様のおかげで満席・大盛況となりました

病院長あいさつ　新任医師紹介　市民公開講座開催報告　無痛 MRI 乳がん検診　熊本麻酔学会報告

病院長あいさつ

今こそハイスキル終身雇用へ

国内の政治もさらに輪をかけてつまらないカネ問題で、また、経済では原材料や資源などのコスト上昇による景気の拡大のないコストプッシュ型インフレが進んでいるにも関わらず政府は消費税減税も行わず、将来に不安ばかりの新年度となっておりますが、皆様方におかれましてはご清祥のことと拝察申し上げます。

当院は今年度も、皆様方のご支援の下、一丸となってさらに質の高い急性期医療の実践を行ないながら、「まちづくり」にも貢献するように最大限の努力をしております。そして、このように努力できますことは、医師会、熊本大学教授陣、国・県・市行政ならびに市民の皆さま方のご支援の賜と深く感謝申し上げております。

ところで、新年度は異動の時期ですので、当院でも医師１５名、看護師２４名、コメディカル技師９名、事務部４名の計５２名の新任ならびに異動職員を迎え、慌ただしさを増しております。

最近の「仕事に関係する報道」によりますと、「個々の事情に応じた多様で柔軟な働き方を自分で選択できるようにするための働き方改革」や「新しい環境や転職にも適応するために必要なスキルを習得するリスキリング」などに加えて、「隙間バイトサービスのタイミーなる会社」や「外国人労働者雇用」も花盛りだそうで、このまま偏った方向や流行りのグローバル化に進んでいけば、働く企業などへの良い意味での帰属意識もなくなり、ややもすれば、各地域や国家に対する愛情も徐々に薄れていくのではないかと危惧するところです。

また、このような方針の多くは「無謬の閉鎖的官僚主導」で堂々と行われており、これまでも日本を引きずり落としたい外国の狡猾な戦略にもまんまと乗って行った「ゆとり教育」「日米半導体協定」「外国人労働者・留学生支援助成金制度」「消費税増税」「新医師臨床研修制度」などなどですが、残念ながら粛々と進んでいる「働きたい労働者の正当な権利を奪う働き方改革」も間違いなくこの範疇でしょう。そして、犠牲になるのはいつも現場です。

一方、日本の１９５０年代後半から６０年代前半にかけての高度経済成長期に定着した「終身雇用制度」は、「労働力の長期的な安定供給や社会的な雇用安定」に多大な貢献をしていたと思います。従って、この人手不足の折こそ、日本をさらに弱体化させる「働き方改革」などは急いで改変した上で、外国人雇用に頼らずハイスキルである日本人の給与を高くして終身雇用し、今こそ「ハイスキル終身雇用で高所得、安心して子どもを産める社会」にするべき時代と思います。そして、ここで重要なことは、「優秀な人材育成のための学びで仕事に役立つ真のスキルを段階的に身に着けていくリカレント教育」を推進し、「働きがい」を蝕む「年功序列」は厳に慎んで参りましょう。

さておき、わたくし共の熊本総合病院は、本年度も引き続き全職員が一丸となって、「医療とともに、公に一肌脱ぎ」ながら「医療のみならずまちづくりにも貢献する」意気込みで、地方創生・人口増加・少子化阻止にも少しでも寄与できるように、さらに精進して参ります。本年度も、皆さま方の格別のご支援を何卒宜しくお願い申し上げますとともに、皆さま方のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

令和７年 ４月吉日

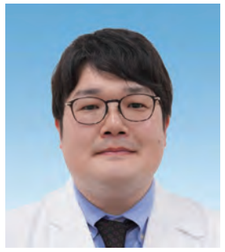
新任医師紹介

副院長
大場　隆

泌尿器科診療部長
福井　秀幸

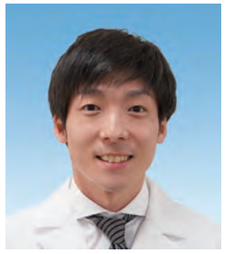
腎センター診療部長
内村　幸平

放射線科医長
近藤　匠



糖尿病センター医員
八木　喜崇

耳鼻咽喉科・頭頸部外科
中耳・内耳手術センター
副センター長
岡崎　太郎

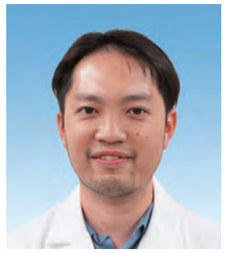


整形外科医員
中原　達秀

消化器内科医員
米田　暁

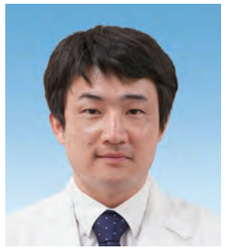
消化器内科医員
佐々木　大尭

腎センター医員
岡村　亮太



皮膚科医員
佐多　俊紀

産科婦人科医員
前田　菜々



産科婦人科医員
大保　静

外科医員
髙橋　啓太

整形外科医員
高野　義晴

第80回 熊本総合病院市民公開講座開催報告

２０２５年2月１６日、市民の皆さまを対象とした公開講座を開催いたしました。

本講座では、中村 博生 八代市長の開会挨拶にはじまり、「熊本の未来を語る」をテーマに木村 敬 熊本県知事ならびに小川 久雄 熊本大学学長より大変貴重なご講演を頂きました。

当日は３００名を超える市・県民の皆様にご参加いただき満席・大盛況となり、講演後の座談会でも活発な意見交換が行なわれました。本講座を通じて、皆さまに熊本の未来について考える市民公開講座を開催できたことを、大変嬉しく思います。

今後も、地域と連携した学びの場を提供してまいりますので、引き続きご支援・ご参加を宜しくお願いいたします。

木村 敬 熊本県知事

小川 久雄 熊本大学学長

中村 博生 八代市長

◆熊本総合病院が第80回市民公開講座

熊本総合病院（八代市通町）の第80回市民公開講座が16日、同病院であり、島田信也病院長を交え、熊本県の木村敬知事と熊本大の小川久雄学長が講演した。このうち、木村知事は県産農林水産品を高付加価値化し、生産者の収入を増やして後継者を確保する施策「食のみやこ熊本県の創造」について説明。「親元就農を後押しし、八代地域の農業基盤を熊本の宝にしたい」と述べた。このほか台湾積体電路製造（TSMC）進出を契機に、医療や農業など幅広い分野で半導体を活用した産業を育てるべきだ、と話した。

熊本総合病院の市民公開講座で話す、熊本県の木村敬知事（右）と熊本大の小川久雄学長（中）、島田信也病院長＝16日、八代市

2025年2月17日 熊本日日新聞掲載

－全ての女性に優しい乳がん検診を－

安心、安全、痛くない【無痛MRI乳がん検診】をはじめます！

乳がんは女性がかかる悪性腫瘍の第１位です。日本人女性の９人にひとりが乳がんに罹患し、国立がん研究センターの統計によると、乳がんの罹患率は２０代から徐々に高まり３０代で急増し、４０代から７０代にかけて高い数値で推移します。そのため定期的に乳がん検診を受け、できるだけ早期に発見することが求められています。

乳がん検診の主流はマンモグラフィ検査です。乳房を直接２枚の板に挟んで撮影する時の強い痛みがあり、乳房を医療スタッフに見られてしまうことに抵抗がある方もおられます。このような理由から、乳がん検診自体を受けたくない、と受ける機会をなくしている方も多いのです。

当院では、検査時の痛みがなく乳房を見られる恥ずかしさもない、ＭＲＩ装置を用いた【無痛ＭＲＩ乳がん検診】を始めることにしました。

【無痛ＭＲＩ乳がん検診】は、造影剤が不要で、痛みもなく、専用の検査衣を着たまま検査を受けることで、乳房を誰にも見られず、完全にプライバシーが守られます。さらに、検診に用いるＭＲＩの撮像法はドゥイブス法という特別な撮像法を用いて検査を行います。去る３月６日にドゥイブス法を考案された東海大学・高原太郎教授に当院までお越しいただき、撮像法、画像処理の指導、画質の確認等々のご指導を頂きました。現在はボランティアによるテストスキャンを行っており、一日も早く「プライバシーが守られすべての女性に優しい乳がん検診」で受検者の皆様に満足していただけるよう、スタッフ一同で準備を行っています。

検査方法
（検査衣を着たまま受けることが可能です）

画像診断センターおよび健康管理センタースタッフ
（東海大学 高原教授：後列右から3人目）

指導の様子

熊本麻酔学会開催報告

麻酔科部長　谷本 宏成

令和７年１月２５日（土曜日）、当院北館大ホールにおいて、第１４５回熊本麻酔学会を開催しました。当院での開催は２０数年ぶりです。お披露目もかねて、飲み物、軽食を用意し、和やかな会を目指しました。

当日は、遠方にもかかわらずたくさんの方が参加され、麻酔、集中治療分野における活発な議論で盛りあがりました。参加者の皆様からは、「会場の素晴らしさに驚いた」、「美味しく食べて飲んで勉強できて最高でした」などのコメントをいただき、熊本大学麻酔学教室の平田直之教授からは、「これほど盛りあがった地方会は初めてです」とおっしゃっていただきました。今後も、熊本の麻酔を牽引していけるよう努力してまいります。

こんにちは赤ちゃん

ご出産
おめでとうございます

当院産科で元気な赤ちゃんが誕生しております。

今後もお母さんや赤ちゃんが安心して出産を迎えられるようサポートしてまいります。

栄養管理室だより

当院で出産されると、通常の食事は栄養管理室より「産後食」を提供しています。バランスの良い病院食＋α、管理栄養士と調理師で食に関心を持っていただけるように取り組んでいます。「お祝いディナー」は１４階のレストランでご本人とご家族で食べられます。

お祝いディナー

産後食

健康管理センターだより

５月より乳房の『痛みのないＭＲＩ乳がん検診』が始まります

無痛MRI乳がん検診のがん発見率は、
平均的なマンモグラフィーの５倍以上に相当します！

【おすすめポイント】
・マンモグラフィーで痛みが苦手な方
・乳がんの家族歴がある方
・乳房手術後の経過観察の方
・妊娠前の方、豊胸術後の方
などにおすすめです

被ばくゼロで精度の高い検査です！

【料金 22,000円（税込）】

Web予約	検査当日受付	問診	MRI検査	会計→帰宅	結果報告
10分	15時30分	5分	16時～	16時30分	10日前後

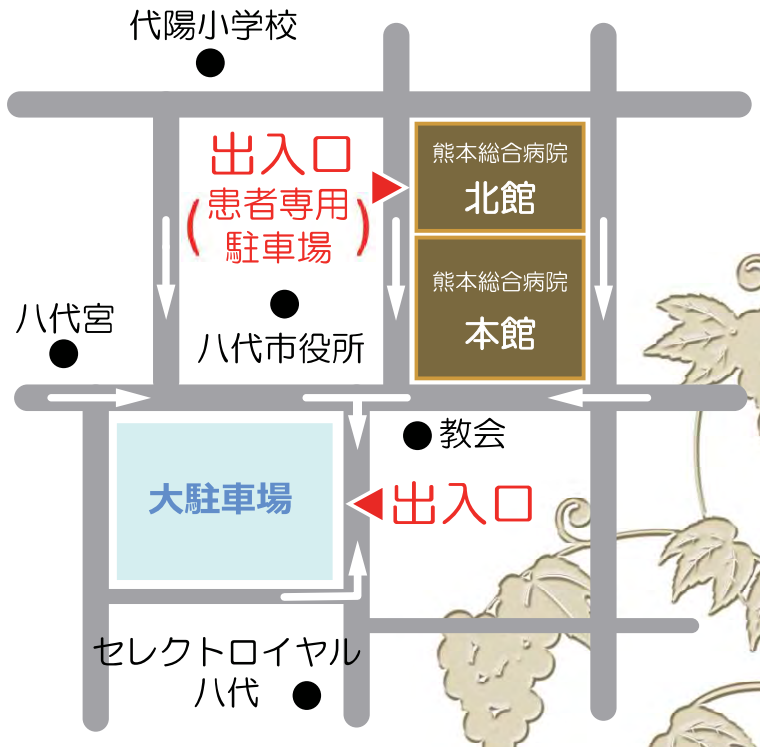
駐車場のご利用について

患者専用駐車場

熊本総合病院北館１階に患者専用駐車場をご用意しております。屋内の駐車場ですので天候に左右されずご利用いただけます。無料ですが、認証が必要です。

大駐車場

基本的に無料ですが、平日は当院による認証が必要となっております。土日祝日は市街地活性化のために認証不要です。
２２時以降の駐車はできません。（以降は高額の駐車料となります）



JCHO熊本総合病院
〒866-8660　熊本県八代市通町 10 番 10 号
電　話　0965-32-7111(代表)
ＦＡＸ　0965-32-2772
ＵＲＬ　https://kumamoto.jcho.go.jp/

発　行　日：　令和７年４月１０日
発行責任者：　病院長　島田信也